

# 市役所の組織が変わりました

市は、令和2年4月1日に組織の改編を行いました。組織改編の主な内容をご紹介します。



## 企画財政部 「行政経営課」に改編

行政改革や内部統制等の事務を一体的に所管し、健全な行政運営を確保するとともに、効率的な行政運営の推進を図るため、企画財政部資産経営課を「行政経営課」に改編し、「行革内部統制係」「公共施設経営係」を設置しました。

## 「子ども未来部」を新設

子どもの貧困や虐待等への対応をはじめとした、子ども・子育てに関する施策の推進体制をより一層強化するため、福祉部子ども未来局を「子ども未来部」に格上げしました。これに伴い、福祉部子ども未来局の「子育て支援課」「保育幼稚園課」「親子保健課」は、「子ども未来部」の所管となります。



子ども未来部長  
谷川小百合

子どもと家族の笑顔のために職員みんなで頑張ります！

## 情報政策課に 「マイナンバーカード推進室」を新設

マイナンバーカードの利活用や交付円滑化に係る体制を強化するため、総務部情報政策課に「マイナンバーカード推進室」を新設しました。また、ICT活用を推進するため、管理係を「スマート自治体推進係」に改編しました。



マイナンバーカード推進室長  
久松岳

ますます便利になるマイナンバーカード！皆様の申請をお待ちしております。

## 企画政策課に 「地域力アップ係」を新設

「ふるさと納税」の取組の推進や、県外からの移住定住対策に係る体制を強化するため、企画政策課に「地域力アップ係」を新設しました。



## お願い

旧組織名が印刷された封筒やはがきなどの在庫がある場合、経費削減の観点から、旧組織名での印刷物を修正して使用することとしています。ご理解とご協力をお願いします。



24歳／株式会社Smolt代表取締役  
上野賢さん

# キラリ!

輝く次世代の宮崎人を応援

## サクラマスの養殖で 宮崎から水産業に革新



幻の魚を宮崎で育てようと養殖に取り組んでいるのは宮崎大学大学院生の上野賢さん。2019年4月に宮崎大学認定のベンチャー企業株式会社Smolt(スマルト)を立ち上げ、高級魚サクラマスの養殖を始めました。上野さんは大学時代に五ヶ瀬町のヤマメ養殖業者と一緒にサクラマスを養殖する技術開発に取り組み、五ヶ瀬町の淡水で育ったヤマメを冬の海で養殖することで巨大なサクラマスに育成できることを立証しました。実はヤマメとサクラマスは卵の段階では同じで、川にとどまるのがヤマメ、川を下って海に降りるのがサクラマスなのです。「サクラマスは数が少なく、サケの中でも最高級の味で、幻の高級魚」と言われています。養殖が実現できれば金色に輝くイクラを取ることができ、人工的に採卵したイクラから次の世代を作ることも可能で、循環型の養殖ができます」と上野さん。現在は稚魚を北浦町の生け簀で大きく育てる活動をしています。上野さんは岩手県釜石市の出身で東日本大震災を経験。夢はサクラマス事業で宮崎の漁業を元気にし、ゆくゆくは宮崎での成功例をもとに、地元でも養殖を展開し釜石市を元気にすること。「まずは宮崎からおいしいサーモンを世界へ発信していきたい」と夢に向かって頑張っています。

宮崎市と県北を行き来し、サクラマスの養殖にいそむ日々を過ごす上野さん。

幻の魚を宮崎で育てようと養殖に取り組んでいるのは宮崎大学大学院生の上野賢さん。2019年4月に宮崎大学認定のベンチャー企業株式会社Smolt(スマルト)を立ち上げ、高級魚サクラマスの養殖を始めました。上野さんは大学時代に五ヶ瀬町のヤマメ養殖業者と一緒にサクラマスを養殖する技術開発に取り組み、五ヶ瀬町の淡水で育ったヤマメを冬の海で養殖することで巨大なサクラマスに育成できることを立証しました。実はヤマメとサクラマスは卵の段階では同じで、川にとどまるのがヤマメ、川を下って海に降りるのがサクラマスなのです。「サクラマスは数が少なく、サケの中でも最高級の味で、幻の高級魚」と言われています。養殖が実現できれば金色に輝くイクラを取ることができ、人工的に採卵したイクラから次の世代を作ることも可能で、循環型の養殖ができます」と上野さん。現在は稚魚を北浦町の生け簀で大きく育てる活動をしています。上野さんは岩手県釜石市の出身で東日本大震災を経験。夢はサクラマス事業で宮崎の漁業を元気にし、ゆくゆくは宮崎での成功例をもとに、地元でも養殖を展開し釜石市を元気にすること。「まずは宮崎からおいしいサーモンを世界へ発信していきたい」と夢に向かって頑張っています。



海を見つける眼差しは真剣そのもの。学生でありながらすでに一歩先を見据えている。